

自然公園等工事内訳書標準書式
(自然公園編)

平成18年3月制定
平成29年2月改定

環境省自然環境局
自然環境整備課

目 次

1	用語定義	1
2	設計書		
	（1）表紙	2
	（2）工事費積算出典調書	3
	（3）設計内訳書	4
	（4）一式当たり内訳書	6
	（5）単価表（積上げ）	7
	（6）単価表（施工パッケージ）	8
	（7）間接工事費等算出調書	9
3	工事数量総括表	1 2
4	見積参考資料	1 4

用語定義

I 自然公園等工事内訳書標準書式（自然公園編）

自然公園等工事に係る設計書等について標準的な書式を示したもの。

II 設計書

工事数量総括表の構成を基に、工事価格を算出するための根拠を示したもの。

(1)	表紙	設計書の表紙として、工事名や工事概要等を示したもの。
(2)	工事費積算出典調書	設計書の作成に用いた基準や情報について示したもの。
(3)	設計内訳書	工事費について工事工種体系に基づき内訳を示したもの。
(4)	一式当たり内訳書	設計内訳書における数量を一式計上した金額について内訳を示したもの。
(5)	単価表	設計内訳書等における設計単価について内訳を示したもの。
(6)	間接工事費等算出調書	設計内訳書における間接工事費等について内訳を示したもの。

III 工事数量総括表

工事施工に関する工種、設計数量及び規格について、工事工種体系の階層構成に準じて示したもの。

自然公園等等工事共通仕様書（自然公園編）に規定されている設計図書であり、各工種毎の数量は契約数量として取り扱われるが、任意施工（例：仮設工（任意仮設））や検収対象外の施工（例：作業土工）等については、数量を一式とすることが出来る。

IV 見積参考資料

入札参加業者の適正な見積に資するため、金抜設計書や必要に応じて数量計算書等を示したもの。

(1)	表紙	必須
(2)	工事費積算出典調書	必須
(3)	設計内訳書	必須
(4)	一式当たり内訳書	必須
(5)	単価表	必要に応じて工法や使用機械等について参考提示する場合に提供。
(6)	その他	必要に応じて数量計算書や参考図等を参考提示する場合に提供。

		設計者

設計書

〇〇年〇〇月〇〇日

工事名 平成〇〇年度◎◎◎◎◎◎◎◎工事
工事場所 △△△△△△△△△△△△公園××××××××××××××地区
工事概要

工事費積算出典調書

工事名																	
積算基準																	
材料費																	
労務単価																	
その他	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%; border: none;">諸経費工種区分</td> <td style="border: none;">(例) 自然公園等工事(自然公園編)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">施工地域・工事場所区分</td> <td style="border: none;">(例) 山間僻地及び離島</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">イメージアップ経費</td> <td style="border: none;">(例) あり(率計上分)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">施工時期、工事期間等による補正</td> <td style="border: none;">(例) 積雪寒冷地域の冬期施工補正(冬期率-. --)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">前払金支出割合区分</td> <td style="border: none;">(例) 35%超40%以下</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">契約保証区分</td> <td style="border: none;">(例) あり・金銭的保証</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">労務単価補正(山岳地等通勤、時間外労働等)</td> <td style="border: none;">(例) あり・山岳地等通勤補正</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">その他</td> <td></td> </tr> </table>	諸経費工種区分	(例) 自然公園等工事(自然公園編)	施工地域・工事場所区分	(例) 山間僻地及び離島	イメージアップ経費	(例) あり(率計上分)	施工時期、工事期間等による補正	(例) 積雪寒冷地域の冬期施工補正(冬期率-. --)	前払金支出割合区分	(例) 35%超40%以下	契約保証区分	(例) あり・金銭的保証	労務単価補正(山岳地等通勤、時間外労働等)	(例) あり・山岳地等通勤補正	その他	
諸経費工種区分	(例) 自然公園等工事(自然公園編)																
施工地域・工事場所区分	(例) 山間僻地及び離島																
イメージアップ経費	(例) あり(率計上分)																
施工時期、工事期間等による補正	(例) 積雪寒冷地域の冬期施工補正(冬期率-. --)																
前払金支出割合区分	(例) 35%超40%以下																
契約保証区分	(例) あり・金銭的保証																
労務単価補正(山岳地等通勤、時間外労働等)	(例) あり・山岳地等通勤補正																
その他																	

設計内訳書

工事名	平成〇〇年度◎◎◎◎◎◎◎◎工事 (当初)				事業区分	(例) 国立公園等整備		
					工事区分	(例) 施設整備		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
△△△△		式	1		〇〇〇			
◎◎工		式	1		〇〇〇			
××××工		式	1		〇〇〇			
□□□□□□	基	〇〇	〇〇〇	〇〇〇			単-〇号
□□□□□□	m	〇〇	〇〇〇	〇〇〇			単-〇号
□□□□□□	m	〇〇	〇〇〇	〇〇〇			単-〇号
△△△△		式	1		〇〇〇			
◎◎工		式	1		〇〇〇			
××××工		式	1		〇〇〇			
□□□□□□	m ³	〇〇	〇〇〇	〇〇〇			単-〇号
□□□□□□	m ³	〇〇	〇〇〇	〇〇〇			単-〇号
□□□□□□	式	1		〇〇〇			式-〇号
直接工事費		式	1		〇〇〇			

※1
記入例の ○ は数字を、
×△◎・は文字を表す。また、
摘要欄には必ず根拠を記入する
こと。

※2
当該工事の工事数量総括表に準
拠した構成とする。

※3
工事区分、工種、種別の金額欄
はそれぞれに属するレベルの合
計金額を記載することとする。

※4
数量、単価及び金額は、今回分
について下段に記載することと
し、変更時は前回分を上段に記
載する2段書きとする。

※5
変更の場合は、変更の有無にか
かわらず全ての項目について数
量、単価及び数量増減を記載す
る。

設計内訳書

工事名	平成〇〇年度〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇工事 (当初)				事業区分	(例) 国立公園等整備		
					工事区分	(例) 施設整備		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
共通仮設費		式	1		〇〇〇			
共通仮設費		式	1		〇〇〇			
イメージアップ経費 (率計上)		式	1		〇〇〇			
共通仮設費 (率計上)		式	1		〇〇〇			
純工事費		式	1		〇〇〇			
現場管理費		式	1		〇〇〇			
工事原価		式	1		〇〇〇			
一般管理費等		式	1		〇〇〇			
工事価格		式	1		〇〇〇			
消費税等相当額		式	1		〇〇〇			
工事費合計		式	1		〇〇〇			

一式当たり内訳書

第○号内訳書		△△△△△△						
名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
××××	××××	××	〇〇	〇〇	〇〇			単-〇〇号
××××	××××	××	〇〇	〇〇	〇〇			単-〇〇号
××××	××××	××	〇〇	〇〇	〇〇			単-〇〇号
××××	××××	××	〇〇	〇〇	〇〇			単-〇〇号
合計					〇〇			

単価表 (積上げ)

単一〇号	××××××	××××××	単位	××	数量	〇〇	単価	〇〇〇
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
××××		××××	××	〇〇	〇〇	〇〇〇		
計						〇〇〇		
単価						〇〇〇	円/〇〇	

単価表（施工パッケージ）

第〇号単価表

施工パッケージ名称

△△△△

平成〇〇年度施工パッケージ型積算方式標準単価表〇〇〇-〇

条件区分

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

標準単価（東京17区H〇〇年版）※

円

	代表機労材規格 (施工パッケージ積算基準)	機労材 構成比※	①東京17区 単価 (円)	②積算地区 単価 (円)
			(基準年月)	(積算年月)
			(東京17区)	(積算地区)
K			—	—
	K 1			
	K 2			
	K 3			
R			—	—
	R1			
	R2			
	R3			
	R4			
Z			—	—
	Z1			
	Z2			
	Z3			
	Z4			
S				
積算単価				#DIV/0!

端数処理

#DIV/0!

※施工パッケージ型積算方式標準単価表の標準単価及び機労材構成比を入力

代表機労材規格の①東京17区・基準年月、②積算地区・積算年月の単価を入力

注) 入力後、データの切り取り、貼り付け、は行わないこと。(計算式が変わってしまうため。)

間接工事費等算出調書

適 用 工 種	自然公園等工事	
---------	---------	--

【共通仮設費(率計上分)】

共通仮設費対象額の算出 (A)+(B)+(C)+(D)-(E)-(F)+(G)	(今回)	(前回)
共通仮設費対象額	0	
(A) 直接工事費計	0	
(B) 支給品費 (共通仮設費対象額)	0	
(C) 事業損失防止施設費	0	
(D) 無償貸付機械等評価額	0	
(E) 共通仮設費対象外額	0	
(F) 処分費に占める諸経費対象外費 (①の内、(P)+②の3%(上限3千万円)を超える額)	0	
直接工事費に含まれる処分費等 ① (処分費、上下水道料金、有料道路利用料)	0	
準備費に含まれる処分費等 ② (伐開、除根等に伴うもの)	0	
(G) その他対象額	0	
共通仮設費率算定 (H)+(I)	(今回)	(前回)
共通仮設費率	0.00%	
(H) 標準値	0.00%	
(I) 施工地域、工事場所による補正	0.00%	
施工地域、工事場所による補正区分	<input type="checkbox"/> 市街地 (2.0%) <input type="checkbox"/> 山間僻地及び離島 (1.0%) <input type="checkbox"/> 地方部 (一般交通影響有) (1.5%) <input type="checkbox"/> 地方部 (一般交通影響無) (0.0%)	
[共通仮設費(率計上分)] =[共通仮設費対象額]×[共通仮設費率] (1,000円未満切り捨て)	0	

間接工事費等算出調書

【現場管理費】

現場管理費対象額の算出
(A)+(B)+(C)-(D)-(E)

	(今回)	(前回)
現場管理費対象額	0	
(A)純工事費計	0	
(B)支給品費	0	
(C)無償貸付機械等評価額	0	
(D)現場管理費対象外額	0	
(E)処分費に占める諸経費対象外費	0	

現場管理費率算定
(F)+(G)+(H)

	(今回)	(前回)
現場管理費率	0.00%	
(F)標準値	0.00%	
(G)施工地域、工事場所による補正	0.00%	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> 施工地域、工事場所による補正区分 </div> <div style="width: 60%;"> <input type="checkbox"/>市街地 (1.5%) <input type="checkbox"/>山間僻地及び離島 (0.5%) <input type="checkbox"/>地方部 (一般交通影響有) (1.0%) <input type="checkbox"/>地方部 (一般交通影響無) (0.0%) </div> </div>		
(H)施工時期、工事期間による補正 (地域区分による補正係数×冬期率)	0.00%	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">積雪寒冷地域の区分</div> <div style="width: 60%;"> <input type="checkbox"/>1級地 (1.80%) <input type="checkbox"/>2級地 (1.60%) <input type="checkbox"/>3級地 (1.40%) <input type="checkbox"/>4級地 (1.20%) </div> </div>		
冬期日数 / 工期日数 (冬期率)	日 / 日 ()	
積算工期 (開始日)	平成 年 月 日	
積算工期 (終了日)	平成 年 月 日	

[現場管理費] = [現場管理費対象額] × [現場管理費率] (1,000円未満切り捨て)	0	
--	---	--

間接工事費等算出調書

【一般管理費等】

一般管理費等対象額の算出 (A)-(B)-(C)	(今回)	(前回)
一般管理費等対象額	0	
(A) 工事原価計	0	
(B) 一般管理費等対象外額	0	
(C) 処分費に占める諸経費対象外費	0	
一般管理費等率算定 (D) × (E) + (F)	(今回)	(前回)
一般管理費等率	0.00%	
(D) 標準値	0.00%	
(E) 前払補正係数		
前払金支出割合区分 (補正係数)	<input type="checkbox"/> 0%から 5%以下 (1.05) <input type="checkbox"/> 5%を超え 15%以下 (1.04) <input type="checkbox"/> 15%を超え 25%以下 (1.03) <input type="checkbox"/> 25%を超え 35%以下 (1.01) <input type="checkbox"/> 35%を超える (1.00)	
(F) 契約保証補正值	0.00%	
保証経費区分	<input type="checkbox"/> ケース 1 : 金銭的保証 (0.04%) <input type="checkbox"/> ケース 2 : 役務的保証 (0.09%) <input type="checkbox"/> ケース 3 : ケース 1, 2 以外 (0.00%)	
[一般管理費等限度額] = [一般管理費等対象額] × [一般管理費等率]	0	
[一般管理費等] = [工事価格] - [工事原価]	0	
[工事価格] = [工事原価] + [一般管理費等限度額] (10,000円未満切り捨て)	0	

工事数量総括表

工事名	平成〇〇年度◎◎◎◎◎◎◎◎工事 (当初)				事業区分	(例) 国立公園等整備	
					工事区分	(例) 施設整備	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
△△△△			式		1		※1 記入例の○は数字を、×△◎・は文字を表す。 また、工事費内訳書の摘要欄には必ず根拠を記入すること。 ※2 自然公園等工事工種体系ツリー(自然公園編)に 準拠した構成を標準とする。 ※3 工事区分、工種、種別の数量は1式とし、細別 については集計した数量を計上する。(1式計上 した場合は、任意施工扱いとなる。) ※4 変更の場合は、変更の有無にかかわらず全ての 項目について数量及び数量増減を記載する。 ※5 工事数量総括表は、単独の書類の場合もあれば、 図面記載の場合も想定される。
◎◎工			式		1		
××××工			式		1		
□□□□□□		基		〇〇		
□□□□□□		m		〇〇		
□□□□□□		m		1		
△△△△			式		1		
◎◎工			式		1		
××××工			式		1		
□□□□□□		m ²		〇〇		
□□□□□□		m ²		〇〇		
□□□□□□		式		1		
直接工事費			式		1		

工事数量総括表

工事名	平成〇〇年度〇〇〇〇〇〇〇〇〇工事				(当初)		事業区分	(例) 国立公園等整備
							工事区分	(例) 施設整備
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要	
共通仮設費			式		1			
共通仮設費			式		1			
イメージアップ経費(率計上)			式		1			
共通仮設費(率計上)			式		1			
純工事費			式		1			
現場管理費			式		1			
工事原価			式		1			
一般管理費等			式		1			
工事価格			式		1			
消費税等相当額			式		1			
工事費合計			式		1			

見積参考資料

工事名称 平成〇〇年度〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇工事
工事場所 △△△△△△△△△△△△公園××××××××××××××地区
工事概要

【注意事項】

本資料は、工事価格の円滑な見積に資するための資料であり、工事請負契約を拘束するものではない。